

# 令和4年度 社会福祉法人かなぎ福社会 事業計画

## 1. 法人の理念と運営の基本方針

【法人の理念】～変化する社会の中で「変わらぬ想い」「変化に対応できる法人」

### 【運営の基本方針】

(1) かなぎ福社会は、利用者様の人権と主体性を尊重し、「利用者様が主役」の立場に立ち、利用者様の目線に立ってニーズを把握し、良質かつ安心安全なサービスを提供するよう努めます。

(2) 今という時は二度とないから今を大切に過ごしたい「一期一会」の心を基本として、共にあかるく笑顔のある施設づくり・人づくりを目指します。

(3) 事業運営における透明性の向上やコンプライアンスの遵守を大切にします。

(4) 地域の福祉ニーズを把握して、福祉向上のための公益的な取組みを実施します。また、災害時等に備えた近隣施設との連携や地域住民相互のつながりを強化し地域ネットワークの充実を図ります。

(5) 役員及び職員は、質の高い支援や介護を提供できるよう研鑽に努めます。

## 2. 経営方針・重点目標

### (1) 健全経営

◇持続可能な経営（健全経営）に努めます。

◇積極的な情報公開や交流等を行い、透明性のある健全な法人・施設の運営によって、地域の皆様との信頼関係を築きます。

◇経営健全化会議の設置、経営会議、運営会議、理事会、評議員会等により、常に各事業の状況把握を行うと共に見直しを行い、健全な経営体制維持に努めます。

### (2) 地域貢献・地域交流

◇地域の福祉ニーズを把握し、可能な限り公益的な取組を実施します。

◇地域の多くの人と出会い、ふれあって、交流を楽しむことができる機会を作ります。

### (3) 役職員の資質の向上

◇法令を遵守し、利用者様の権利を擁護してより質の高い介護を提供できるよう研修等に参加する等、資質の向上に努めます。

### (4) 職場環境改善

◇ICT やインカムの導入等により、業務の見直しを行い、利用者様により良いサービスを提供するとともに、職員の業務負担の軽減に努めます。

### (5) 施設運営、各種会議、研修等について

◇感染症の状況を勘案して実施します。

◇WEB 会議（ZOOM）による開催も可能とします。

## 3. 法人の中・長期目標

I かなぎ福社会のすべての事業を健全にそして、持続可能に運営できるように常に見直しを行い、信頼していただける法人運営を目指します。

II 各地で介護施設が災害等の被害を受けていることに鑑み、関係機関や他施設との協力体制を構

築します。日頃から、火災・土砂災害・地震・洪水等さまざまな危機を想定した実践的な訓練を繰り返し実施します。又、適時、防災設備の点検や防災体制等の見直しを行い予期せぬ災害に備えます。

Ⅲ 利用者様の目線に立ってニーズを把握し、可能な限り施設・備品等の整備を行っていきます。

Ⅳ 安全運転の取組（ドライブレコーダーの設置、運転前後の酒気帯びの有無の確認）

#### 4. 各種会議等の開催

##### (1) 会議

- ◇ 評議員選任・解任委員会
- ◇ 定時評議員会、臨時評議員会
- ◇ 理事会
- ◇ 第三者委員会
- ◇ かなぎ園入所検討委員会
- ◇ 決算監査・内部監査・定期監査
- ◇ 経営健全化会議
- ◇ 経営会議
- ◇ 運営会議
- ◇ その他の会議

##### (2) 地域交流事業～地域における公益的な取組

- ◇ かなぎ園にて、かなぎ園祭りの実施、人権研修等の実施
- ◇ 緑ヶ丘にて、地域交流活動の実施

#### 5. 運営事業

- (1) 特別養護老人ホームかなぎ園（定員50名）
- (2) 短期入所生活介護事業所かなぎ園（定員4名）
- (3) 緑ヶ丘居宅支援事業所
- (4) 緑ヶ丘居宅支援事業所浜田
- (5) 緑ヶ丘デイサービスセンター（定員33名）

#### 6. 令和4年度施設内外研修計画

##### ●施設内研修計画

- ・人権・同和教育研修会

##### ●施設外研修計画

- ・監事研修会・理事研修会・指導監査説明会・実務研修会・経営者協議会研修会
- ・安全運転管理者等講習他

## 令和4年度特別養護老人ホームかなぎ園 短期入所生活介護事業所かなぎ園事業計画

### 《目標》

かなぎ園は、新型コロナウイルス等の感染症の予防に全力で取組みながら、施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介助、相談及び援助、社会生活上の支援、機能訓練、健康管理、及び療養上の支援を行うことにより、利用者様がその有する能力に応じた自立した明るく、安心した日常生活を営むことができるように支援します。また、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、サービスを提供します。

## ●運営の重点

- ・ 新型コロナウイルス等の感染症予防に全力で取り組みます
- ・ 法令を遵守し、利用者様の権利を擁護して、介護のプロまた福祉人として、組織人としてより質の高い介護を提供できるよう資質の向上に努めます。
- ・ 私達はすべての生活場面において、利用者様の基本的人権を守ります。
- ・ 健全経営を確保して地域から信頼していただける施設づくりに努めます。
- ・ 科学的介護情報システム（LIFE）により、厚生労働省へ介護の計画書や施設における介護情報を提出します。分析、評価を受けて、改善につなげることにより、介護の質の向上に努めます。

## ●日常生活

- ・ 職員は利用者様の言葉や様子に目と耳と心をむけ、しっかりと受け止めて支援します。
- ・ 施設の中・外は常に整理、整頓を行い、清潔を保ちます。
- ・ 利用者様に入浴していただくことで、健康で清潔な身体状況を保ちます。
- ・ 健康状態に合う「おいしかった」と満足していただける食事を提供するとともに、日清医療食品さんには食中毒の防止等に万全を期していただきます。
- ・ 介護支援専門員、担当職員、主任生活相談員、生活相談員、看護職員等が利用者様のニーズを的確に把握し、ケアプランに反映すると共に、個々の利用者様のお気持ちに添った支援を行います。
- ・ ご家族様と施設の職員が共に、利用者様の孤独感が軽減できるように努めます。また、各利用者様に担当職員1名と生活相談員を置き、何でも気軽に話せる環境を整えます。
- ・ 利用者様の誕生日にはご家族様をお招きして誕生会を開きます。
- ・ 目（視覚）、耳（聴覚）、におい（嗅覚）、味（味覚）、ふれてみる（触覚）、などの五感を生かして自然を楽しみ心のうるおいを追求します。
- ・ 地域の多くの人と出会って、ふれあって、交流を楽しみます。
- ・ 個人の趣味、教養などを取り入れて各種レクリエーション、ミュージックケア、外気浴、散歩、外出、おいしんぼうクラブなど利用者様の加齢に伴う状態や体力にあわせて工夫し、楽しみながら訓練を兼ねた活動を行います。

## ●機能訓練

- ・ 施設サービス計画に基づいた訓練目標や個別プログラムを作成して実施し、3ヶ月に1回または随時、見直しを行うと共に利用者様、ご家族様に説明して承諾をいただきます。

## ●健康管理

- ・ 協力病院、他の医療機関、嘱託医との密接な連携を保ち、利用者様の健康管理に努めます。
- ・ 緊急時や夜間の医療については担当職員が看護職員に連絡、嘱託医との連絡体制を整えて万一にそなえます。
- ・ 嘱託医による月4回の健康相談、診察と共に、利用者様の症状に合わせて専門医を受診して早期治療に努めます。
- ・ 年2回協力病医院、嘱託医及び関係機関による健康診断等を実施します。
- ・ 胸部X線検査、血液検査、インフルエンザ予防接種、新型コロナワクチン接種等を実施します。

## ●地域との連携

- ・ 小中学校、保育園等 地域との交流を実施します。
- ・ 地域交流（かなぎ園まつり、敬老会、ふるさと訪問・地域のイベント等外出）の事業を行います。
- ・ ボランティアの受入を行います。
- ・ 福祉教育、看護学生実習、教員養成実習等の受け入れを行います。

## ●家族・家族会

- ・ アンケート調査を実施します。
- ・ ご家族様との連絡を密接にとり、信頼関係の構築に努めます。
- ・ 施設内の行事には、ご家族様の積極的な参加を求め家族会との連携を深めます。
- ・ 「家族会だより」を発行します。

## ●サービス提供体制

新型コロナウイルス等の感染症予防に全力で取り組みながら、お一人お一人に可能な限り行き届いたサービスを提供します。

- ①介護部門に日々オペレーションリーダー（責任者）を配置し、よりよい介護に努めます。
- ②利用者様お一人ごとに担当介護職員を配置します。
- ③各居室には担当者を配置し、安心できる環境を整えます。
- ④さまざまな機会を通じて職員の資質の向上に努めます。

⑤施設設備の環境改善に努めます。

●非常時・災害時の対応

施設は尊い人命を預かっており、非常時・災害時に対する対策は重要な課題です。防災意識の高揚安全のための対策は火災・土砂災害を想定したマニュアル等によって常日頃から検討します。過去においてかなぎ園近火により全入所者が避難した経験を生かして、さまざまな危機を想定し防災体制、防災設備の点検、見直しを行い実践的な訓練を繰り返し行います。また、不審者侵入等による利用者様の安全確保のため訓練等の実施による防犯意識の向上に努めます。

感染症発生時には、マニュアルにより沉着冷静に行動し感染を最小限にとどめる行動を行います。

又、車の安全運転に対しても、法人内に安全運転管理者を配置・全車にドライブレコーダーを設置するなど、事故等起きないように十分留意します。

●会議・委員会活動

施設における民主的な管理と効率的な運営を確保するため、会議を通じて日常業務を円滑に行うことを目的とします。

- ・運営会議 ・施設管理会議 ・職員会議・処遇会議・介護課スタッフ会議・給食会議
- ・防災・防犯管理委員会・入所検討委員会・その他委員会活動

●令和4年度施設内外研修計画

- ・接遇マナー研修・倫理法令遵守研修・防災訓練及び研修・褥そう防止研修
- ・事故発生・再発防止研修会・衛生管理〔感染症・食中毒〕研修・身体的拘束適正化研修
- ・人権同和教育研修会・虐待防止研修・看取りターミナルに関する研修
- ・緊急時（医療）の対応に関する研修・防災に関する研修（地域とともに総合防災訓練）
- ・認知症に関する研修・新入職員研修・その他
- ・認定調査員現任研修会・金城地区地域ケア会議・福祉サービス苦情解決研修会
- ・身体的拘束適正化のための研修・権利擁護推進員養成研修・人権・権利擁護研修
- ・介護職員等により吸引等の実施のための研修・リスクマネジメント研修会
- ・島根県老人福祉施設協議会研修大会・認知症介護実践研修（実践者研修）
- ・認知症介護実践研修（リーダー研修）・ケアプラン指導研修会・高齢者虐待の防止に係る研修
- ・浜田圏域結核研修会・地域医療従事者研修会・その他

## 令和4年度緑ヶ丘デイサービスセンター事業計画

《目標》

利用者様が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況を踏まえながら、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、心身機能の維持や社会参加の促進を図り、もって生活機能の維持又は向上を目指す。

●運営の重点

- ・新型コロナウイルス等の感染症予防に全力で取り組みます。
- ・法令を遵守し、常に利用者様の基本的人権を尊重し、介護のプロまた福祉人として、組織人としてより質の高い介護を提供できるよう資質の向上に努めます。
- ・地域の福祉ニーズを把握することに努め、公益的な取組を実施し、地域の多くの人と出会い、ふれあって、交流を楽しむことができる機会を作ります。
- ・健全経営を確保して地域から信頼していただけるデイサービスセンター作りに努めます。

I 通所介護サービス

1. 事業内容

介護支援専門員が作成したケアプランに基づき、具体的なサービス内容等を記載した通所介護計画に沿って次の事業を行う。

① 通所介護計画（ケアプランの策定）

- ・利用者様お一人お一人の身体状況を勘案して通所介護計画・介護予防通所介護計画を策定し、その有する能力に応じた自立支援を行う。

② ご家族様との連携

- ・ご家族様と送迎時や連絡帳等を通じて情報共有を行うことで連携を図る。（但し、緊急の場合はすみ

やかにご家族、担当ケアマネジャー、主治医等に連絡を行い、対応を行う。)

③ 新たにご利用になる利用者様に対する援助

・新たにご利用になる方への援助として、利用開始後の身体的な負担を最小限にする為、職員から声掛けを積極的に行うことにより、これまでと変わらぬ生活が営まれるよう支援する。

④ 機能訓練

・機能訓練指導員、その他の職種の者が共同して、利用者ごとに個別機能訓練計画を作成し、利用者の心身の状況に応じて、身体機能及び生活機能の向上を目的とした機能訓練を行う。

・平行棒による立位保持、歩行訓練、セラバンド・足踏みによる下肢の訓練、滑車による肩・腕の訓練、フットマッサージ、カイロプラクティック（マッサージ療法）等により残存機能の維持、また心身機能の向上を図る。

⑤ アクティビティ

栄養、運動、休養のバランスの取れた健康的な生活習慣の確立を図る目的として、JOYSOUND 機器（健康王国）を使い、9万5千曲選べるカラオケで歌い、運動支援・体操コンテンツ・ダンスコンテンツで体を動かし、観る、癒す、そして遊びを持った盛りだくさんのコンテンツを最大限に活用し、アクティビティを行う。又利用者様が身体表現の中に歌を組みあわせたり、数字を計算したり、手指を動かしたりすることによって、楽しみながらリハビリや日常生活に対しての意欲や自信をつけ、生活機能の維持、向上を図り、生き甲斐や自己実現を目指していく。

・グループ訓練

・健康体操、歌、手遊び、身体表現、会話、リハビリ活動

・風船バレー、読み仮名クイズ、頭脳ゲーム、体力測定ゲーム

・お花見、七夕会、秋の散策、誕生会等に参加することにより、離床を促し、上下肢、指先の機能訓練を行うとともに心身機能の維持・向上を目指す。行事や創作お菓子作りに参加する等、様々な行事活動で季節や家庭の雰囲気をあじわっていただく。

・地域や保育園等よりボランティアの受け入れを行い、地域との交流を持つ。

⑥ 趣味・教養

個人個人の趣味や教養を生かし、個別レクリエーションの実施や数字の計算、手指を動かすことで、楽しみながら、認知機能や身体機能の維持改善につなげる。

パズル 囲碁 将棋 花札 百人一首 折り紙 習字 ぬり絵 知能リハビリ（ドリル）等

⑦ 健康管理

検温、血圧測定、脈拍測定等を行うことにより、健康状態の把握を行う。また、1ヶ月ごとに利用者様個々の身体状況に合わせた体重測定を行う。利用時間中に静養できるようベッドを8床、簡易ベッド2床を準備し、介護度が高い方でも安心して利用していただける環境作りを行う。

⑧ 送迎（安全かつ効率的）

・利用者様及びご家族様との的確な情報交換（心身の状況、生活状況、居宅の立地場所等）を行う。

・送迎における介護技術の更なる向上を目指す。

・利用者様が、安全・安心に乗降する為に、利用者様の介護ニーズに合ったそれぞれの車種による送迎を行う。

⑨ 入浴サービス

一般浴槽、気泡の出るチェアインバス等、利用者様の身体状況等に応じた入浴介助サービスを行う。体調に十分な注意を払いながら、清潔の保持に努めるとともに、季節毎にしょうぶ湯や柚子湯を行うことで心身のリフレッシュを図る。

⑩ 給食サービス（昼食）

栄養、嗜好を考慮した食事を提供し、家庭的な雰囲気の中で食事が出来るよう配慮する。

⑪ 苦情処理

利用者様等からの苦情は丁寧に傾聴し、真摯に受けとめ、事実確認と原因究明を迅速に行う。苦情対策マニュアルによって適切に対応する。

⑫ 利用者様等に関かれた相談体制の確立

利用者様等からのご相談に、職種間の十分な連携のもとで適切な助言を行う。

⑬ 衛生管理

感染症予防の観点から玄関ロビー、リハビリ室等の手洗い場を活用するなど感染対策の徹底を行う。職員が感染症に対する正しい知識を得られるよう、研修の機会を設ける。

II 介護予防通所介護（従来型）サービス

1. 事業内容（介護予防プログラム）

サービスの提供にあたっては介護予防サービス計画書に基づき、生活機能低下の危険性を早期に発見

し、効果的なプログラムを用意する。併せて、利用者様自身の意向にそって、専門家の支援も得ながら生活機能の向上に積極的に取り組むことができるよう働きかけを行っていく。

介護予防プログラム・メニュー

① 運動器機能向上 ②利用者様毎の自立支援 ③その他日常の生活支援

これらの介護予防プログラムは、基本的には通所介護におけるこれまでの日常生活上の支援、生活行為向上支援、リハビリ及びアクティビティ等と同様の体系とする。

#### 1日のスケジュール

月曜日～日曜日に編成して、サービスを行う。

|             |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| 7:50～9:00   | 送迎車による迎え                             |
| 9:00～12:00  | 健康チェック、休息、入浴、趣味活動、リハビリ（介護予防プログラムを含む） |
| 12:00～14:00 | 昼食、休憩、養護                             |
| 14:00～15:00 | 日常動作訓練、アクティビティ、行事、介護予防プログラム等         |
| 15:00～16:10 | ティータイム、フリータイム、集団体操、生活相談、手作業（タオルたたみ等） |
| 16:10～      | 送迎車による送り                             |

#### 年間事業実施計画

年末年始（12月30日～1月3日）、盆（8月14日～16日）を除き、土曜、日曜も休まず実施する。

#### ●会議・委員会活動

・運営会議・業務改善委員会・職員会議・給食会議・研修委員会・介護技術（食事、水分補給、口腔ケア、入浴、排泄等）委員会・感染症予防対策（感染症・食中毒）委員会・認知症ケア委員会・ヒヤリハット及び事故防止委員会・身体的拘束、虐待防止委員会・地域交流委員会・緑ヶ丘だより委員会・コンプライアンス委員会・その他委員会活動

#### ●令和4年度施設内研修計画

・認知症及び認知症ケアに関する研修・介護予防及び進行予防研修・介護技術研修・感染症・食中毒予防研修・プライバシーの保護研修・人権・同和教育研修（倫理及び法令遵守）・身体的拘束・虐待防止研修・医療に関する研修・個人情報保護研修・事故予防、再発防止研修・防災訓練（研修）・緊急時の対応に関する研修・その他新入職員研修を適時実施する。

#### ●令和4年度施設外研修計画

・浜田圏域老人施設協議会研修会・多職種連携による勉強会・その他

## 令和4年度 緑ヶ丘居宅介護支援事業所事業計画

#### 《目標》

緑ヶ丘居宅介護支援事業所は、介護保険の理念に基づき、高度なアセスメント能力（課題抽出）、プランニング能力（課題対応、解決）、モニタリング能力（検証、評価、進行管理）を最大限生かし、要介護者及び地域包括支援センターから委託を受けた要支援者等が自立した生活を送ることができるよう支援する。又、老化に伴い介護が必要な者に対して介護相談、居宅サービス計画書等を作成すること等により支援を行う。

#### 運営方針

1. 事業所の介護支援専門員は、要介護状態等になった場合においても、その利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、また利用者様の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者、又は施設から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮する。

2. 事業所の介護支援専門員等は、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ったサービスを公正中立に行う。
3. 事業の実施にあたっては、利用者様に関する情報又はサービス提供にあたっての留意事項に係る伝達を目的とした会議を定期的開催し、他の指定居宅介護支援事業者、介護保険施設等との連携に努めるものとする。
4. 居宅介護支援費に係る運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けないよう、利用者様に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏らないよう行う。
5. 介護支援専門員1人あたり45名未満の利用者様にサービスを提供する。

#### 事業内容

指定居宅介護支援の提供に際し、介護保険法に規定する「居宅介護支援事業」について、次の業務等をおとして適切に実施する。

1. 居宅サービス計画作成にあたり、要介護、要支援者等相談者の主訴を明確に把握し、相談者の意思を踏まえ、必要な助言等を行う。
2. 相談者への訪問をおとして、利用申込者本人・家族の状況、状態を的確に把握する等課題分析を実施する。
3. 利用申込者本人の心身の状況や環境に応じて、また、本人・家族の意向等をもとに居宅サービス計画の原案を作成する。
4. サービス担当者会議を設置し、居宅サービス計画を協議・決定する。またサービス提供者との連携を密に図りながら、サービス実施状況等の継続的な把握・評価を行う。サービス計画に変更を要する場合等、必要に応じてサービス担当者会議等において協議する。
5. サービス利用者様からの相談・苦情処理に関する業務を行う。
6. 給付管理業務を行う。
7. 報酬請求業務を行う。
8. 保険者（市町村）との連携を強める。
9. 市町村からの委託による要介護認定申請者に対しての訪問調査を実施する。
10. その他

#### ●令和4年度施設内研修計画

- ・ 接遇マナー研修・倫理法令遵守研修・防災訓練及び研修・褥そう防止研修
- ・ 事故発生・再発防止研修会・衛生管理〔感染症・食中毒〕研修・身体的拘束適正化研修
- ・ 人権同和教育研修会・虐待防止研修・看取りターミナルに関する研修
- ・ 緊急時（医療）の対応に関する研修・防災に関する研修（地域とともに総合防災訓練）
- ・ 認知症に関する研修・新入職員研修・その他

#### ●令和4年度施設外研修計画

- ・ 包括ネットワーク研修会・高齢者虐待防止研修・多職種連携による勉強会・その他

## 令和4年度緑ヶ丘居宅介護支援事業所浜田事業計画

### 《目標》

緑ヶ丘居宅介護支援事業所浜田は、介護保険の理念に基づき、高度なアセスメント能力（課題抽出）、プランニング能力（課題対応、解決）、モニタリング能力（検証、評価、進行管理）を最大限生かし、要介護者及び地域包括支援センターから委託を受けた要支援者等が自立した生活を送ることができる

よう支援する。又、老化に伴い介護が必要な者に対して介護相談、居宅サービス計画書等を作成すること等により支援を行う。

#### 運営方針

1. 事業所の介護支援専門員は、要介護状態等になった場合においても、その利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、また利用者様の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者、又は施設から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮する。
2. 事業所の介護支援専門員等は、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ったサービスを公正中立に行う。
3. 事業の実施にあたっては、利用者様に関する情報又はサービス提供にあたっての留意事項に係る伝達を目的とした会議を定期的に開催し、他の指定居宅介護支援事業者、介護保険施設等との連携に努めるものとする。
4. 居宅介護支援費に係る運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けないよう、利用者様に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏らないよう行う。
5. 介護支援専門員1人あたり45名未満の利用者様にサービスを提供する。

#### 事業内容

指定居宅介護支援の提供に際し、介護保険法に規定する「居宅介護支援事業」について、次の業務等を通して適切に実施する。

1. 居宅サービス計画作成にあたり、要介護、要支援者等相談者の主訴を明確に把握し、相談者の意思を踏まえ、必要な助言等を行う。
2. 相談者への訪問をとおして、利用申込者本人・家族の状況、状態を的確に把握する等課題分析を実施する。
3. 利用申込者本人の心身の状況や環境に応じて、また、本人・家族の意向等をもとに居宅サービス計画の原案を作成する。
4. サービス担当者会議を設置し、居宅サービス計画を協議・決定する。またサービス提供者との連携を密に図りながら、サービス実施状況等の継続的な把握・評価を行う。サービス計画に変更を要する場合等、必要に応じてサービス担当者会議等において協議する。
5. サービス利用者様からの相談・苦情処理に関する業務を行う。
6. 給付管理業務を行う。
7. 報酬請求業務を行う。
8. 保険者（市町村）との連携を強める。
9. 市町村からの委託による要介護認定申請者に対するの訪問調査を実施する。
10. その他

#### ●令和4年度施設内研修計画

- ・認知症及び認知症ケアに関する研修・介護予防及び進行予防研修・介護技術研修・感染症・食中毒予防研修・プライバシーの保護研修・人権・同和教育研修（倫理及び法令遵守）・身体的拘束・虐待防止研修・医療に関する研修・個人情報保護研修・事故予防、再発防止研修・防災訓練（研修）・緊急時の対応に関する研修・新入職員研修・その他

#### ●令和4年度施設外研修計画

- ・包括ケアネットワーク研修会・多職種連携による勉強会・居宅ケアプラン研修会・その他